

令和8年8月27日

次世代下宿「京都ソリデール」が10周年 ～10周年を記念したフォーラムを、府庁旧本館で9月27日に開催～

- 京都の高齢者宅に大学生が低廉な家賃等で下宿して交流する京都府の取組「京都ソリデール」が今年10周年を迎えます。
- これを記念して、9月27日に「第8回高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム」を開催し、10年間の取組の評価や今後等について取り上げますので、周知と取材をお願いします。

1 日 時

令和8年9月27日（日）13:30～16:30

2 場 所

京都府庁旧本館旧議場（京都市上京区下立売通新町西入る）

3 内 容

（1）次世代下宿「京都ソリデール」事業についての説明

（2）講演

○日本で広がる異世代ホームシェア

日本大学教授 ^{くぼた ひろゆき} 久保田 裕之 氏（家族社会学）

○京都ソリデールの実態とそれぞれの世代に与える影響

令和健康科学大学講師 ^{かわさき いっぺい} 川崎 一平 氏（作業療法学）

○シニアと学生のソリデール・ライフ～共に暮らすためのヒント～

京都女子大学准教授 ^{これなが みき} 是永 美樹 氏（住宅計画学）

（3）クロストーク「京都ソリデールの10年間の評価や、これからについて」

・講演登壇者

・岐阜工業高等専門学校助教 ^{わだ ふき} 和田 蒔 氏

・応用芸術研究所代表取締役 ^{かたぎ こうじ} 片木 孝治 氏

4 参加方法（参加無料、要事前申込）

申込方法：フォーム、メール、電話等により申込

<申込先>フォーム：<https://forms.cloud.microsoft/r/2RKxhnbUwS>

メール：jutaku@pref.kyoto.lg.jp

電 話：075-414-5358

申込期間：令和8年8月27日（木）～令和8年9月22日（水）

定 員：先着60名

5 取 材

- ・取材の際は、自社腕章を着用してください。
- ・会場では、職員の指示に従ってください。

（次頁あり）

<参考：次世代下宿「京都ソリデール」事業概要>

- ・若者（一人暮らしの大学生等）へ低廉で質の高い住宅確保と自宅の一室を提供する高齢者との交流を図る、同居マッチングシステムを構築。
- ・府から業務を受託したマッチング事業者が、丁寧なマッチングとしっかりと入居後のフォローを実施。
- ・平成 28 年度事業開始。同居実績 72 組、利用者 100 名以上（高齢者 43 名、学生 72 名（高齢者は複数回利用有））

<参考：「高齢者と若者の縁のある住まい方フォーラム」について>

- ・高齢者や若者等に京都ソリデール事業に興味を持っていただく目的で、平成 28 年度から令和元年度までに計 7 回開催。
- ・コロナ禍に伴い開催が途絶えていたが、今年が事業開始 10 周年の節目に当たることをきっかけとして、7 年ぶりに第 8 回フォーラムを開催するもの。

【本報道発表に関するお問合せ】

建設交通部住宅政策課	課長	山口	TEL 075-414-5355
	参事	棕平	TEL 075-414-5371



第8回

高齢者と若者の 縁のある住まい方フォーラム

利用者実績
100人以上



次世代下宿「京都ソリデール」は平成28年度から京都府が取り組み、今年度で10周年。高齢者宅(持ち家)の空き室を、大学生に低廉な家賃等で提供し、気の合う高齢者と大学生が同居・交流するもので、以前は京都でも多く見られた「下宿」のような懐かしい住まい方です。「下宿」との違いは、マッチング事業者が高齢者と大学生の相性を大切にして同居までに面談を重ねるなど丁寧にマッチングをし、同居後もしっかりとフォローを行うことなど。この住まい方について、この機会に一緒に考えてみませんか。

次世代下宿「京都ソリデール」事業について

京都府職員が、「京都ソリデール」について、詳しくご説明いたします。

講演

家族社会学、作業療法学、住宅計画学の専門家から、異世代ホームシェアについて講演いただきます。

日本で広がる異世代ホームシェア

日本大学教授 久保田裕之氏

京都ソリデールの実態とそれぞれの世代に与える影響

令和健康科学大学講師 川崎一平氏

シニアと学生のソリデール・ライフ～共に暮らすためのヒント～

京都女子大学准教授 是永美樹氏

※異世代ホームシェア:高齢者と若者が一つの家に他人と同居し交流を図る住まい方で「京都ソリデール」も該当します。

クロストーク

「京都ソリデール」の10年間の評価や、これからを専門家の皆様がクロストークします。

講演の登壇者

岐阜工業高等専門学校助教 和田露氏

応用芸術研究所代表取締役 片木孝治氏

日時 9月27日(日) 13:30～16:30
(開場 13:00)

会場 京都府庁 旧本館 旧議場 京都市営地下鉄「丸太町」徒歩10分

参加 定員60名(先着順)、参加無料、要申込

感染症の拡大状況や天候により、延期、中止、開催方法の変更等の場合があります。

申込みは9月22日(火)迄に

申込先 京都府住宅政策課

フォーム <https://forms.cloud.microsoft/r/2R-KxhnbUwS> QRコード→

①お名前と②参加人数③連絡先をフォーム、電話、FAX又はメールにてお知らせください。

京都ソリデール

検索

TEL 075-414-5358

FAX 075-414-5359

MAIL jutaku@pref.kyoto.lg.jp



登壇者プロフィール



久保田裕之氏
KUBOTA HIROYUKI

日本大学文理学部教授。博士（人間科学）。家族社会学等を専門とし、シェアハウス、コレクティブハウスといった家族ではない他人との共同生活実践に関する理論的・実証的な研究を行っている。著書に『他人と暮らす若者たち』など、論文に「EUにおける高齢者と若者の共同生活の試み：ホーム・シェアリングの国際比較に向けた調査報告」などがある。

是永美樹氏
KORENAGA MIKI

京都女子大学家政学部准教授。博士（工学）、一級建築士、NPO法人古材文化の会副会長。専門は住宅計画、建築計画、建築設計。他者とつながる場としての「住まい」の可能性、継続性について研究を行っている。論文に『住まいを開放した高齢者の居場所づくりに関する研究－京都市内の事例調査－』『世帯構成に応じた家庭文庫としての住まいの開き方に関する研究』などが、共著書に『座りたくなる住宅～居場所から広がる住宅の設計～』などがある。



川崎一平氏
KAWASAKI IPPEI

川崎一平氏令和健康科学大学 講師博士（情報学）、作業療法士、NPO法人地域共生開発機構ともつく理事。異世代ホームシェアをはじめ、高齢者と若者の交流や地域共生に関する研究に取り組む。論文に『異世代ホームシェアリングにおける共生の在り方に関する研究』、『異世代ホームシェアは在宅認知症ケアに何をもたらすのか－当事者たちの関係性の変容に着目して－』などがある。



和田 蒔氏
WADA FUKI

岐阜工業高等専門学校助教。博士（学術）。2016年の京都ソリデール事業の創設時から7年間、マッチングを行う学生チームを牽引。異世代同居を行う学生・高齢者の生活のサポートや異世代での暮らしを考えるイベントを企画。専門は建築史・都市史。博士論文「京都市における小売市場の成立と展開」、著書に『自分の街をつくるには』などがある。



片木孝治氏
KATAGI KOJI

株式会社応用芸術研究所代表取締役。京都ソリデール事業の創設時からマッチング業務を担っている。有志の大学生と地域滞在型プロジェクト河和田アートキャンプ、竹田Tキャンプを通して、地域における次世代の担い手づくりに取り組んでいる。大学卒業後、民間建築士事務所勤務、京都精華大学特任准教授を経て、現在は総務省地域力創造アドバイザーを務める。

